

報道関係 各位

株式会社アドバンテスト

2009年度入社式 丸山社長挨拶（要旨）

『情熱をもって！』

入社おめでとうございます。百年に一度の経済恐慌と言われる大変厳しい環境の中、激的な就職戦線を勝ち抜いて入社された皆さんを、アドバンテスト・グループの全ての社員が、心より歓迎します。

当社は1954年の創業以来、「先端技術を先端で支え、評価し、品質保証に寄与する」ことを経営の理念とし、主に半導体試験装置の分野で、IT社会の発展に貢献してきました。本日は、今後IT社会発展の一端を担う皆さんが力強い第一歩を踏み出されるのにあたって、その心構えについてお話します。

志を高く、失敗を恐れず

志を高く立て、夢を持ち、その実現のために自らの道を歩み出してください。若いときは、何度失敗してもやり直しが利き、それが夢の実現のための糧となります。麦は踏まれて強くなると言いますが、人も同じです。人に踏まれて心の根っこを深く張り、打たれ強い自立した人に成長してください。

親しき仲にも礼儀あり

礼儀とは、敬意を表す作法や行為で、単に形式的に表すのではなく、相手に対し心の底から出た敬意を表すものです。そして、礼儀とは、年配者や目上に対してのみならず、親しい友人や同僚、または後輩や部下に対しても相応に守られるべきものだと思います。挨拶一つで人間関係がスムーズに行くことはいくらでもありますので、礼儀を知ること努めてください。

読書を通じて、自分を鍛える

さまざまな分野にわたる幅広い読書を通して、筆者が提供するさまざまな情報や考え方をすることは、日常の生活で何かを判断、表現する上で大きな力になります。読書を通じて、物事を掘り下げて考える力や物事の本質を読み解く力を養ってください。読書をしている人としていない人では、豊かな想像力や発想力の大小で、コミュニケーションの力や人間を理解する力という面から歴然とした差が出てくるものと思います。

グローバル・マインドの必要性

私たちが携わる半導体業界は、経済のボーダレス化と企業のグローバル化といった環境の変化に対応すべく、経営資源の選択と集中で経営効率の向上を図る再編などを通じて、常に変化しています。今後、このようなビジネス環境に身を置く皆さんに、ぜひグローバル・マインドを醸成していただきたいと思います。そのためには、ただ単に外国の言葉を習得するとか、外国の慣習やルールを真似るのではなく、まず生まれ育った国の価値観、文化や歴史に対する見識をしっかりと持ちつつ、外国の人にも彼ら独自の価値観や歴史観があることを許容する柔軟な心を持つことが必要です。

本質を究める

全ての事柄について、当社の行動指針である『本質を究める』という思考と行動をとるように努めてください。私たちは、あらゆる場面で起こる現象から物事を判断するわけですが、ともすれば表層に現れた姿や形から短絡的に判断し、安易に対処しがちです。しかし、自身の立場に固執したり、相手に対して気兼ねしたりせず、一步踏み込んで本質を議論する、つまり「現れたる事象の根源にあるものは何か、内包される本質は何か」を議論する姿勢が大切です。

以上、皆さんのこれからの成長と活躍に期待して、入社式の挨拶とします。

*本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な事象により予告無く変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。